

MARKII

LPG

取扱書 トヨタ コロナ マークII

トヨタ コロナ マークⅡ LPGⅡ

本書はLPG車の取り扱い方法について編集してあります。

本書に記載されていない取り扱い方法については、別冊のトヨタ コロナ マークⅡ取扱書をご参照ください。

この取扱書は次の車両について説明してあります。

排気量	グレード	エンジン型式
2000 (6気筒)	デラックス	M-U(LPG)

車両の仕様、その他の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

CONTENTS 目次

LPG車の操作方法

エンジン始動	2
シフト・レバー	3
エンジンを長持ちさせるために	3
駐車について	3
燃料の補給	4

LPG車の手入れと整備

LPG車の作業点検	5
レギュレーターのタール抜き	6
エア・クリーナーの清掃、交換	6
エンジン・オイルの補給	7
冷却水の補給	7

装備品について

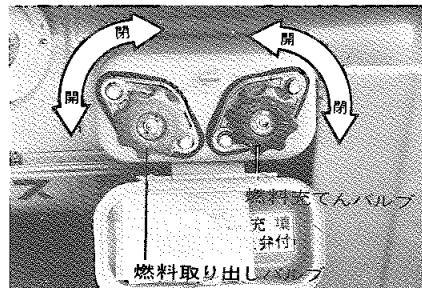
エンピツ立て	7
装備品一覧表	8
整備基準値	8

LPG車の 操作方法

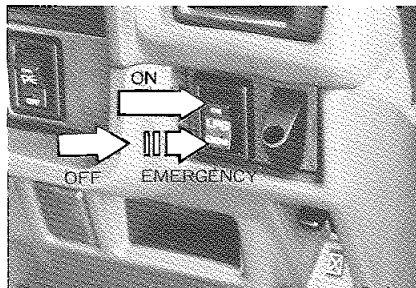
■エンジン始動

エンジン始動は次の順序で行なってください。

1. トランク内の燃料取り出しバルブをいっぱいにひらきます。



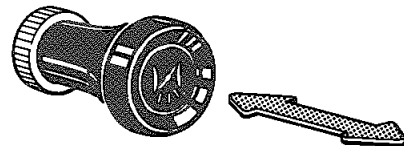
2. LPGスイッチをONにします。LPGスイッチは始動時および走行中は、ONの位置にしておきます。



3. アクセル・ペダルを踏まないで、エンジン・スイッチをSTARTの位置にし、スターターを回します。
4. 初爆後、アクセル・ペダルをわずかに踏み、回転を安定させてエンジン・スイッチをONの位置にもどします。

アクセル・ペダルはいっぱい踏み込まないでください。燃料が薄くなり、エンジンがかかりにくくなります。

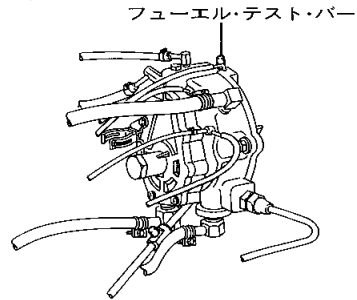
5. エンジンがかかったら、スロットル・ボタンを引き、できるだけ低い回転数（1000～1500rpm）でしばらく暖機を行ないます。エンジンが暖まったら、必ずスロットル・ボタンをもどしてから走行してください。



エンジン始動後5～6分は、極端にアクセル・ペダルをあおることはやめてください。気化熱がレギュレーターを凍結させたり、エンジンに悪影響を与えるおそれがあります。

エンジンがかかりにくいときは

1. LPガスの出方が薄すぎるときはレギュレーターのフューエル・テスト・バーを2～3回うしろ側に動かしてからかけなおしてください。



2. LPガスが濃すぎるときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏むか、LPGスイッチをOFFにして少しスターターを回してからかけなおしてください。



1. エンジンがかからなかったときは、しばらくそのままにしてください。連続してエンジンを始動すると、レギュレーターが凍結するおそれがあります。
2. 万一始動に失敗したときは、レギュレーターをぬるま湯で暖めます。その場合、レギュレーター以外の部品にぬるま湯がかからないように注意してください。
3. エンジンが暖まらないうちに、レギュレーターが凍結することがありますので、冷却水は必ずロング・ライフ・クーラント(濃度50%)を入れてください。

■エンジンを長持ちさせるために

1. (新車時は特に)控え目な運転をしてください。
2. エンジンをオーバーランさせないために、各シフト・レバーの位置での速度が次表の数値を越えないように運転してください。
3. 特に高速走行時のシフト・ダウンはオーバーランに注意してください。

トランスミッション	1速	2速	3速
4速マニュアル	35	75	125
3速オートマチック	50	90	

■駐車について

1. LPGスイッチをOFFにする。
2. エンジン・スイッチをLOCKの位置にしてキーを抜く。
3. 長時間駐車するときは、ポンベの取り出しバルブをとじる。

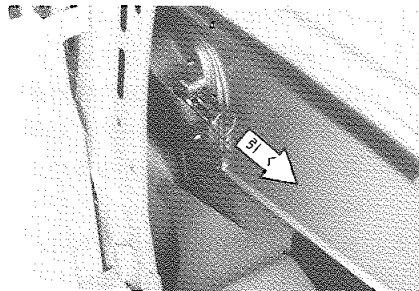
■燃料の補給

LPGは「高圧ガス取締法」の適用を受けますので、各ポンベには「高圧ガス容器証明書」がついています。運転時およびLPガス充てん時には必ずこの証明書を携行してください。

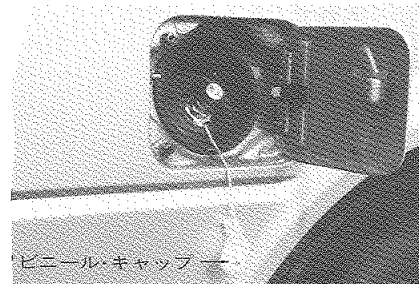


補給のしかた

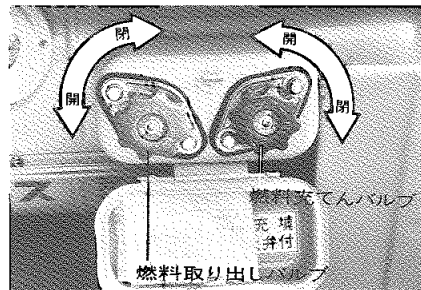
1. LPGスイッチをOFFにする。
2. エンジン・スイッチをLOCKの位置にする。
3. トランク右端のレバーを引き補給口のカバーをあげる。



4. 補給口のビニール・キャップをはずす。



5. トランク内ポンベの燃料取り出しバルブを締め、燃料充てんバルブをひらく。



6. LPガス充てんガンを確実にセットし注入する。

ポンベには過充てん防止装置がついていますので、約80%以上は充てんされません。

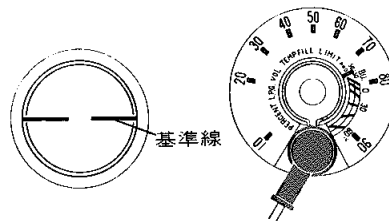
7. 燃料充てんバルブを締め、燃料取り出しバルブをひらいてトランクをとじる。
8. LPガス充てんガンをはずし、補給口にビニール・キャップを取り付ける。

★注意

LPガスの補給は、LPGスタンドの係員におまかせください。

またLPガス補給時は、指定場所以外で火気を取り扱わないよう十分ご注意ください。

フューエル・ゲージ



外周の数字がボンベ内の燃料容量を%で表わします。また、充てん量を目で確かめられるよう、のぞき穴が取り付けられています。基準線以上は入れないでください。

LPG車の 手入れと整備

■ LPG車の作業点検

一般の作業点検に「ガス漏れの点検」も必ず追加して実行してください。

点検のしかた

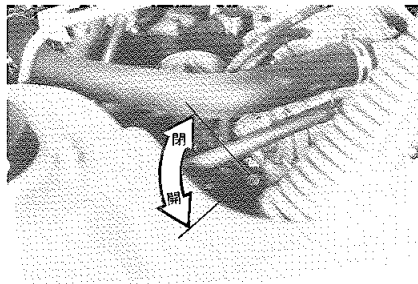
1. トランク内の燃料取り出しバルブをひらきます。
2. エンジン・スイッチをONの位置にし、LPGスイッチをEMERGENCY側に数秒間押してください。
3. エンジン・ルーム内のパイプ接続部に、石けん液または中性洗剤液を塗ってガス漏れないことを確認してください。点検後は必ず石けん液などをふき取ってください。

★注意

ガス漏れの点検には、絶対に火気を使用しないでください。

また、夜間の点検には、照明の替わりにマッチ、ライターなどを絶対に用いしないでください。

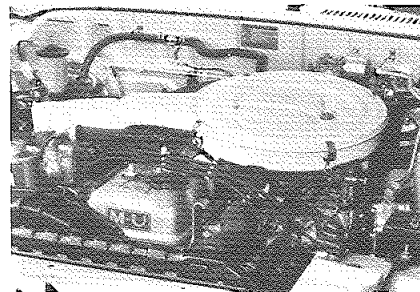
■レギュレーターのタール抜き



1. エンジン停止後レギュレーターが暖まっているときに、レギュレーター下部のドレーン・コックをひらきます。
2. タール状の物質を出してください。
3. タール抜きが終わったら、ドレーン・コックを必ずとじてください。

レギュレーター内にタール分が付着すると、触媒装置の浄化性能を損なうおそれがあります。タール抜きは週に一度は行ってください。

■エア・クリーナーの清掃、交換



乾式エレメントを使用しています。交換は40,000km走行ごとに行なってください。

■エンジン・オイルの補給

補給オイルは、キャッスル・モーター・オイル・クリーンLPG・SAE 30（寒冷時SAE 20）を使用してください。

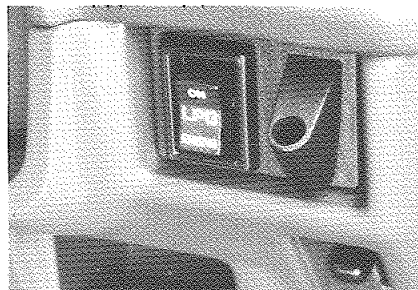
■冷却水の補給

キャッスル・ロング・ライフ・クーラントの濃度を50%にしてご使用ください。通常は2年で交換してください。

凍結防止温度	-35℃まで
ロング・ライフ・クーラントの濃度(%)	50
冷却水量(ℓ)	10

装備品について

■エンピツ立て



■ 装備品一覧表 ■

LPG車の装備品は以下のとおりです。

なお取り扱い方法については、別冊のトヨタ コロナ マークⅡ取扱書を参照してください。

装 備 品	D X
油圧警告灯	●
リヤ・ウインドウ・デフォッガ	●
チルト・ステアリング	△
シート上下アジャスター	●
時計	●
トランク・オープナー	●
A Mラジオ	●
カセット・ステレオ(録音機構なし)	△
エア・コンディショナー	△
175 S R 14 ラジアル・タイヤ	△
ウレタン・バンパー	△
パワー・ステアリング	△

●：標準装備 △：注文装備

なお、LPG車には、フューエル・リッド・オープナーは装備されません。

■ 整備基準値 ■

<各部調整値>

排気量およびエンジン型式	2000 (6気筒)	
	M-U (LPG)	
ファン・ベルトのたわみ量 (mm) (押す力10kg)	10~16	
パワー・ステアリング・ベルトのたわみ量 (押す力10kg) (mm)	17~26	
スパーク・プラグ・ギャップ (mm)	0.7~1.0	
アイドル回転数 (rpm)	700~800	
ブレーキ・ペダル (mm)	遊 び	3~6
	踏み残り代	80以上(踏力50kg)
クラッチ・ペダル遊 び (mm)	5~15	
ハンドルの遊 び (mm)	0~30	
タイヤ残りみぞの深さ (mm)	1.6以上	

<各部容量>

エンジン・オイル量

オイルのみ交換時…………… 4.2 ℓ

オイルとフィルター交換時…………… 4.7 ℓ

トランスミッション（ギヤ・オイル）

4速トランスミッション…………… 2.4 ℓ

オートマチック・トランスミッション（フルード）… 6.3 ℓ

ディファレンシャル（ハイポイド・ギヤ・オイル）… 1.5 ℓ

ステアリング・ギヤ・ボックス（ギヤ・オイル）… 0.5 ℓ

冷却水……………10 ℓ

フューエル・タンク……………71 ℓ

パワー・ステアリング・フルード全容量…………… 0.8 ℓ

MEMO

MEMO

MEMO

サービス データ

使 用 燃 料		L P G	
燃 料 タ ン ク 容 量 (ℓ)		71	
エンジン・ オイル量(ℓ)	エ ン ジ ン	M-U (LPG)	
	オイルのみ交換	4.2	
	オイルとフィルター交換	4.7	
タ イ ヤ ・ サ イ ズ		6.45-14-6 PRLT	175SR14
タイヤ空気圧(kg/cm ²) 〔 〕内は高速時	前 輪	1.9 [2.2]	1.7 [2.0]
	後 輪		
エンジン・オイルの交換		6 か月または10,000kmごと (注) 過酷な条件で使用される場合は5,000kmごと	
オイル・フィルター・エレメントの交換		10,000kmごと	
プ ラ グ の 型 式		W20EXR-U, BPR 6 EY	
エア・クリーナー・エレメントの交換		40,000kmごと	

●印刷=昭和55年10月24日

●発行=昭和55年10月24日<非売品>

★車両の改良により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

●編集=トヨタ自動車販売株式会社・サービス部 〒452愛知県西春日井郡春日村

●発行=トヨタ自動車販売株式会社・販売拡張部 〒461名古屋市東区泉一丁目23番22号

安全はトヨタの願い
TOYOTA

無断複製禁止

189900 1 ㊞-1